

## 岡山で藤原和通さん(14期)業績特別展

「面白い音、求め続け」「藤原和通さん(倉敷市出身)特別展」という大見出しが新聞に踊りました。令和6年9月のことです。調べてみると藤原さんは14期生でした。面白い音の特別展? 珍しい展覧会だな、ということで会場の岡山県立美術館へ取材を兼ねて鑑賞に行ってきました。

藤原さんは青陵高校を卒業後、音楽家を目指して作曲家に師事しましたが突然目覚めて、奈良県できこりをしながら風や滝、都会の雑踏など意外性のある面白い音を収録、分析する道へ

がるボルネオ島で森のささやきを狙っているのでしょうか、収録中の藤原さんが写っていました。

ヘッドホンで音を



音を収録中の藤原和通さん 〓ボルネオ島(撮影年不明)

聴くコーナーでは、口ひげをなでた時の音や虫が葉を食べる音など多彩な音を集めていました。耳で聴くことのできない万物の音を集めて五十余年になります。全国でも極め

## 世界の「音」を集めた「芸術家」

入りました。

その間、当時流行した携帯音楽プレーヤー「ウォークマン」を参考に、自ら開発した高性能マイク、耳や鼻の位置に高性能マイクを仕込んだ録音装置「ダミーヘッド・マイク」を携え世界中を巡りました。

音を集めるだけでなく、木や石を組み合わせた「音具」(おんぐ)を発明、新しい音を創作するなど芸術家の一面もありました。イタリアでは有名な芸術家と交流しました。

遺作を集めた特別展では、活動ぶりを写真で展観、開発した高性能マイクなど集音機材を展示していました。動画を見ると、インドネシアなど3国にまた

### 自ら開発した高性能マイク携え



藤原さんが開発した高性能マイク⑤と録音装置「ダミーヘッド・マイク」〓展示物より

てユニークな「音」の芸術家、は令和2年に76歳で亡くなりました。

青陵時代の同級生3人に、藤原さんはどんな人だったのか聞いてみましたが、3人とも「覚えがない」、「小・中・高校が同じだったが、全く記憶にない」と口をそろえます。意外性満載の人でした。

□…本稿の一部は令和6年9月15日付山陽新聞を参考にしました。



## 藤原均さん(17期)

### 年6回、「カメラに頼らず目で見る」



令和6年8月、「世界の182カ国・地域を訪問 自営業藤原均さん」という記事が新聞に載りました。182カ国といえば国連加盟国193、パリ五輪参加国・地域207に迫り、ほぼ世界制覇ではないですか。驚いて藤原さん(17期)に連絡すると、「講演(依頼?)はもうやめてるんですよ。以前、青陵高校にも行きましたかね、「いやいや取材です」ということで、お会いしてきました。

王に会う機会に恵まれてねえ」というハプニング付きでした。海外事情研究会という同好会にも加入しました。

卒業後、仕事の傍ら「世界100カ国を目指そう」と本気になったのが35歳ごろでした。「自営で時間の融通が利くのでね。妻の許可さえあればOKですよ」と笑いながら、「年6回、1回10日ぐらい、1カ国に2、3泊のペースです。(スイス

## ほぼ世界制覇 182カ国旅行

の東隣の小国)リヒテンシュタインなどはビールを1本飲んで3時間でさようならしましたね。一人旅が多いですが、妻や娘、旅行仲間と行くこともありました」と言います。

2カ国しかない北米のアメリカには80回ぐらい行ったそうです。ほとんど大リーグ見物で、野茂や松井の時代です。大谷もエンゼルス時代からで、「最近もドジャーススタジアムで観戦しましたが、大谷人気はすごいですよ」と、ホットニュースを伝えてくれました。

世界旅行を始めから50年たちました。藤原さんの海外渡航300回を記念した祝賀会が市内で開かれたのが冒頭の記事になったのです。20年前に加入、2代目会長を8年務めた倉敷市国際交流協会の主催でした。この種の祝賀会はあまり聞いたことがありません。

残るのはチャドやニジェールなど中央アフリカとカリブ海の小国だけです。「200を目指しましたがコロナ禍であつさり断念しました。もう満足ですね。全国の世界覇者? 400人から500人もいます。私は珍しくありませんよ」と、淡々としていました。

「どの国が一番記憶にありますか?」という質問には、「よく聞かれるんですがね、国と食べ物それぞれ好みがありノーコメントですよ」と笑いながら、具体的には答えてくれませんでした。

二度の人生、旅を通して世界を考えてきました」と言う、うらやましくも優雅な人でした。

□：藤原さんは青陵時代、テニス部でインターハイに出場しました／「青陵高校創立100周年記念誌」に同じ世界旅行のテーマで寄稿しています。



コートジボワールで住民と触れ合う(中央の帽子が藤原さん)＝同

写真はピラミッドの原型があるスーダンの砂漠でラクダに乗り、コートジボワールでは住民と触れ合った1枚など海外旅行の象徴的なシーンをかなり保存しています。「歩いて目で見る」主義なので、カメラには頼りません。



# 合格実績

2025年度  
入試合格大学

## 難関国立大学

|            |               |
|------------|---------------|
| 東京大.....2  | 東北大.....4     |
| 京都大.....3  | 神戸大.....11    |
| 大阪大.....12 | 一橋大.....1     |
| 九州大.....8  | 難関大 合計.....44 |
| 北海道大.....3 |               |

## 岡山大学 学部別

|             |                |
|-------------|----------------|
| 法学部.....4   | 工学部.....17     |
| 法学部夜.....1  | 農学部.....3      |
| 経済学部.....2  | 医学部医学科.....2   |
| 経済学部夜.....1 | 医学部保健学科.....8  |
| 文学部.....3   | 薬学部.....2      |
| 教育学部.....11 | 岡山大学 合計.....54 |

## 国公立大学

|             |               |
|-------------|---------------|
| 東京農工大.....1 | 香川大.....23    |
| 大阪大.....12  | 愛媛大.....11    |
| 神戸大.....11  | 高知大.....1     |
| 鳥取大.....3   | 九州工大.....4    |
| 島根大.....5   | 大阪公立大.....1   |
| 岡山大.....54  | 岡山県立大.....9   |
| 広島大.....5   | その他の大学.....75 |
| 山口大.....3   | 国公立大 合計..224  |
| 徳島大.....6   |               |

## 国公立医歯薬

|               |              |
|---------------|--------------|
| 国公立医学科.....3  | 国公立薬学科.....3 |
| 国公立医歯薬 合計...6 |              |

## 主な私立大学

|                |
|----------------|
| 慶應大.....1      |
| 東京理大.....7     |
| 明治大.....4      |
| 早稲田大.....8     |
| 京都産業大.....17   |
| 同志社大.....41    |
| 立命館大.....60    |
| 龍谷大.....15     |
| 関西大.....14     |
| 近畿大.....52     |
| 関西学院大.....30   |
| 岡山理大.....39    |
| 川崎医療福祉大.....22 |
| 就実大.....36     |
| 清心女子大.....51   |

(『青陵SCHOOL GUIDE 2026』より)

## 生活

部活の運動部ではハンドボール部女子が県高校総体で3位、春季優勝大会で4位になりました。文化部では競技かるた部が全国高

総合的な探究の授業(総探)に力を入れています。普通科高校では珍しいといわれ、1年生は総探の基礎固め、2年生はゼミ活動を行います。今年の1年生は教材として生成AIと、山陽新聞社が開発した新聞活用の学習支援サイト「キミスタ」を活用しました。食料としてのダチョウ、空き家問題などを分析、情報の扱い方を学びました。これを踏まえ、「倉敷の地域資源」を発信しました。(この項山陽新聞より)

## 進路

令和6年度(7年春)の進学状況(合格者)を見ると、国公立大学に224人と、前年より20人減りましたが、難関9大学は44人と、逆に10人増えました。中でも、東大2(前年1)、京大3(同1)と好成績でした。

前年76人と好成績だった岡山大は54人にダウンしましたが、前年ゼロだった難関の医学部医学科に2人が合格しました。

国公立医歯薬も12人から半減しましたが、医学部医学科は岡山大の2人を含め3人です。

進路指導課長の村山大輔先生は「難関9大学のアップは、(志望者が)強い意志を持ち志を貫いた努力の結果です。浪人生は前年より増えましたが、現在も前向きに受験勉強に励む生徒が多く、

来年の入試で結果を出してくれることを期待しています」と、温かく見守っています。

共通テストは5年目で、初の新課程学習指導要領での試験でしたが、実施形態、問題の難易度ともに特に問題はありませんでした。大半の国立大学で必須となった初めての科目「情報」は、あまり難しい問題は出題されませんでした。

ここ3年ほど、コロナ禍での関西志向が顕著に見られましたが、今回はやや関西方面の大学の合格者が減りました。

□…本稿は「合格実績」一覧と村山大輔先生の話に基づいたものです。

## 総合探究で情報の扱い方学ぶ



オープニングで華しく開幕した2025青陵祭II体育館

棋は3位に入りました。競技かるた部は5人が全国の総文祭に岡山県チーム(8人)の主力として出場しました。

大学・社会人と戦う陸上の中国選手権800円で七村颯大さん(2年生)が2位に食い込みました。

校岡山県予選団体で優勝、棋道部は全国高校将棋岡山県予選会男子団体の3位で大会に進み、ハンド女子はベスト8、将

## ハンドのインターハイ会場に



体育館前に設置されたインターハイ、ハンドボール競技会場の看板

全国高校総体(インターハイ)は青陵からの出場は、ありませんでしたが、中国5県での分散開催により青陵高校体育館がハンドボール女子の競技会場に選ばれ、8月3、4の2日間、熱戦が繰り広げられました。

9月の2025青陵祭は「青瞬間」のテーマを掲げ、文化の部は展示、ステージ発表、野外ライブ、模擬店合わせて約60のイベント、体育の部は11のプログラムを熱く展開、文字通り「青瞬間」の3日間でした。

難関9大学は10人増え44人

令和6年度部活動優秀選手表彰式が  
同7年2月28日に体育館で行われ、卒  
業生18人に部活動振  
興会（谷本俊夫会長・  
14期）から盾と表彰  
状が贈られました。

受賞者は次の通りです。（敬称略）

「中国大会個人または団体3位以内」

## 行部さん（書道）ら18人

### 令和6年度部活動 優秀選手表彰

行部（ゆくべ）杏奈Ⅱ書道部／三澤琴乃、  
白神秀晃、朴木（ほうのき）優衣、大隅  
生（ゆう）、横山幸宥（みゆ）、井上萌乃香（ほ  
のか）、武田夏葵（なつ  
き）、大田彩葉（いろは）、  
金池和花（のどか）、初  
村心咲（みさき）、高田  
彩矢、守本結菜、友光遥子（はるこ）Ⅱ  
以上ハンドボール部

バスケットボー

## バスケット部男子

顧問の岸本哲也先  
生と、2つ上の先  
輩に矢田達  
郎さん（53期）という主将  
がいました。身長180cmの  
長身で運動能力が高く、  
レジェンド（偉大な選手）  
でした。この2人がチー  
ムを県大会初優勝に導いた  
のでしよう。平成12年のこ  
の初優勝をきっかけに県内  
トップクラス、全国総体の  
常連になりました」という  
ことです。

バスケットボー  
ル部男子は、平成  
10、20年代に岡山  
県大会で初優勝して以降、県内上  
位校の仲間入りをし、念願の全国  
総体（インターハイ）に進出する  
までにレベルアップしました。そ  
の発展過程を取材しようと、令和  
7年春、同部と顧問の佐藤朋信先  
生（55期）を訪ねました。

佐藤先生にお願いして、事前に  
平成12年から令和5年までの24年  
間の成績一覧表を作成してもらい  
ました。それを見ると、県大会優  
勝6、準優勝5、県総体優勝6、  
準優勝4、県新人大会優勝6、準  
優勝5回、県総体優勝の年に全国  
総体へ6回出場しています。最近  
は各大会ベスト8前後にとどまっ  
ていますが、活躍ぶりに変わりは  
ありません。

同先生によれば「私の在学中、

## 部活に燃える

## レジェンド登場 県内最強に

平成10、  
20年代

令和7年度は男女計51人  
が「主体性」を合言葉に活  
動しています。顧問から教  
えられたことをヒントに自  
分たちで考えを発展させ、  
限られた時間内に練習の質  
を上げることこだわって

| 好調な時代<br>成績一覧 |     | 春季県大会<br>(中国選手権予選) | 中国選手権大会 | 県総体 | 全国総体  |
|---------------|-----|--------------------|---------|-----|-------|
| 平成12(2000)年度  | 優勝  | ベスト8               | 3位      |     |       |
| 13(2001)      | 3位  | 優勝                 | 準優勝     |     |       |
| 14(2002)      | 優勝  | 3位                 | 優勝      |     | 1回戦敗退 |
| 15(2003)      | 優勝  | 3位                 | 優勝      |     | 1回戦敗退 |
| 16(2004)      | 優勝  | ベスト8               | 優勝      |     | 2回戦敗退 |
| 17(2005)      | 準優勝 | 1回戦敗退              | 準優勝     |     |       |
| 18(2006)      | 準優勝 | 3位                 | 準優勝     |     |       |
| 19(2007)      | 準優勝 | 準優勝                | 準優勝     |     |       |
| 20(2008)      | 準優勝 | 優勝                 | 3位      |     |       |
| 21(2009)      | 準優勝 | ベスト8               | 優勝      |     | 2回戦敗退 |
| 22(2010)      | 3位  | 準優勝                | 3位      |     |       |
| 23(2011)      | 3位  | 1回戦敗退              | ベスト8    |     |       |
| 24(2012)      | 優勝  | 3位                 | 優勝      |     | 2回戦敗退 |
| 25(2013)      | 3位  | 1回戦敗退              | 3位      |     |       |
| 26(2014)      | 優勝  | ベスト8               | 優勝      |     | 1回戦敗退 |

## 令和6年度末の主な教職員異動

### 【転任】

津山工業 教諭 藤原 良介（令和五年） 国語  
総合教育 センター1 指導主事 窪津 裕人（平成七年） 数学  
新見 教諭 妹尾 知真（令和四年） 数学  
倉敷南 教諭 田中 智子（令和五年） 英語  
倉敷商業 教諭 岡田 和則（令和三年） 英語  
勝間田 養護教諭 葉師寺彩花（令和五年） 養護  
玉島 主任 船橋 健幸（令和四年） 事務  
総社（副参事） 稲葉三千代（令和三年） 図書

## 指導教諭に田淵先生

### 【着任】

指導教諭 数学 田淵 慎吾（総社南）Ⅱ青陵36期  
教諭 数学 植月 典久（早島支援）  
教諭（新採用） 数学 藤原 匠平（岡山操山）  
教諭（新採用） 英語 池平 透麻（岡山城東）  
講師（新採用） 英語 中村 玲子（岡山芳泉）  
講師 英語 三船 愛実（岡山南）  
養護教諭 養護 犬飼加菜子（高梁）  
主事（新採用） 事務 大久保 和  
司書 図書 村上 詩織（県立図書館）  
【退職】  
教諭 佐藤 宣多（平成五年） 数学  
教諭 大橋 賢二（令和二年） 英語



## 地域交通シンポに参加 岡山

路面電車の岡山駅前乗り入れや路線バスの再編など地域交通が大きく変わろうとしている岡山市内で令和7年7月13日、公共交通の利便性アップをテーマにシンポジウムが開かれました。



### 青陵の三谷さん、恒松さん 探究学習を基に提案

年生の三谷晃徳さんと恒松哲人さんの2人です。日ごろから県内普通科高校では珍しく探究学習に力を入れています。主に同市交通政策課や同市のNPO法人「公共の交通ラクダ」で取材しました。

2人は「路面電車に観光型の車両を設けて、線路幅が同じJR桃太郎（吉備）線と接続、吉備津神社や備中国分寺の観光客を増やす」「駅に駐車場、バス停に駐輪場を設け、公共交通との接続を改善する」「乗り継ぎ拠点にスーパリーやカフェ、自習室などを設けやすくする」など多角

的な提案を行いました。

提案に対し、取材先や関係者から「利用者側や地域住民の意見を聞いて」「切り口は良いが、もっと掘り下げる必要がある」などの感想ももらったそうです。2人はこの取り組みを「後輩に引き継いでいく」と力強く結びました。

会場に詰めかけた約180人の参加者から大きな拍手が送られました。

□…本稿の一部は令和7年7月10日付山陽新聞を参考にしました。

公共交通の利便性アップを提案した三谷晃徳さん（発表席左）と恒松哲人さん

メインの大作と松井えり菜さん（53期）香川・男木島の展示会場

### 現代アートの松井えり菜さん（53期）

瀬戸内海の島々を舞台に「瀬戸芸」の名ですっかり有名になった瀬戸内国際芸術祭は2025（令和7）年に第6回を迎えました。

「（出品の）オファーを待ってたんですよ」と、夏会期に張り切って初出品した美術家・松井えり菜さん（53期）の取材で炎暑の8月、香川・男木島を訪ねました。

松井さんの作品は、変顔や自分に似ているといわれるウーパールーパー（メキシコサンショウウオ）など、幻想的な抽象画「自画像表現」という特異なジャンルに特化した現代アートです。

会場に充てられた古民家4室すべてに7点の力作が展示されていました。メインは男木島と鷺羽山から見た瀬戸内海を、6畳間の壁面いっぱいに描いた油絵です。お得意のウーパールーパーや6歳の息子、1歳の娘の顔を描いた作品もあります。

松井さんは次々訪れる芸術仲間や観光客の対応に追われながら、「コンクールの作品や個展と違って、大きな芸術祭の中の作品づくりだったので新鮮でした。昨年秋から自分のアトリエで制作、作品搬入には苦労しました」と話してくれました。

幼少時から絵が好きで、青陵の先輩画家・木口敬三さん（11期）



に師事、青陵時代的美術部で本格的に取り組み、東京藝術大学から同大学院美術研究科で油画を専攻しました。ドイツへの留学経験もあり画業は20年を超えました。東京で活躍していますが、大原美術館後援会会長でもあります。

## あこがれの「瀬戸芸」に初出品

香川  
男木島

## 寄稿

私たちは3期生は戦後混乱期の学制改革で、ちよつと違つた6年間を過ごした。

昭和21年4月、倉敷高等女学校に入学した。岡山空襲で焼け出された人、海外から引き揚げてきた人、私のように疎開してきた者などがいて入学者は確か402人だった。

6組に分けたので1クラス67人。教室は超満員だった。普通教室が足りなくて音楽教室や作法教室(畳敷き)も使つた。

復員の先生方は軍服を着ていた。制服はセーラー服が手に入らず母が縫つてくれ

昭和23年の学制改革で精思高等学校となり、私たちは(過渡期の)併設中学生となった。翌年、さらにエスカレーター式に(新制の)倉敷青陵高校生になった。

3年生になった昭和26年、教室に余裕ができ、富井校舎から(倉中・倉高の)男子が来て初めて共学となった。共学とはいえ女子が8組と多く、男子は半分の4組。クラスが別々だったので男子とはあまり話す機会がなかった。

科目は必修以外自由選択なので苦手な数学は1年間

3期 佐野 (旧姓 長谷川) 徳(やす)子 京都府在住

## 倉女から青陵6年間のあれこれ



た。靴やノートは高い闇値で買った。教科書も英語、数学ぐらいいしはなく、後は新聞紙大の紙に印刷されたものを自分で切り分け綴じて製本した。そのほかの教科書はなく、板書だった。ある日、音楽教室から上級生の「流浪の民」のコーラスが聞こえてきた。戦後のガサガサした日常が一転して「ここは女学校よ」という気分になつてくれた。

だけ。後は古文、漢文、書道を取つたが、これは今も役に立っている。修学旅行は男女別行程だったけど変わったとは思わなかった。七十余年前のこと、こんな学校生活だった。

佐野徳子さんと終戦後の学校の変遷

| 年代(昭和) | 佐野徳子    | 学 校                      |
|--------|---------|--------------------------|
| 21年    | 倉女入学    | 倉女最後の入学生                 |
| 22年    | 倉女2年生   |                          |
| 23年    | 精思併設中学生 | 新制高校誕生。倉女が精思高校に、倉中が倉敷高校に |
| 24年    | 青陵1年生   | 精思高校と倉敷高校が合併、倉敷青陵高校誕生    |
| 25年    | 青陵2年生   | 合併後、青陵初の新入生入学            |
| 26年    | 青陵3年生   | 富井校舎の倉敷高校(倉中)生、美和校舎へ     |

(編集室作成)

## 西田(旧姓)照子さん = 8期・家庭科 = です

「公民館講座で草木染をやっとなよ。頑張るとるから話聞いて」という要望を、西田(旧姓石井)照子さん = 8期・家庭科 = から令和6年の本部同窓会(8月)の席上、聞きました。早速、水島公民館の9月最初の例会に出向きました。

この日の教室では、西田先生を中心に10人の会員が集合して藍染をしました。染料の藍の色素を水に溶かして大きな容器で布を

染料が染みわたったところで台に乗せて絞り、模様を付けるくくりひもをほどこ作業をします。ベテラン西田先生はその様子をじっと見守っていました。

西田さんは子育てが一段落した45歳ぐらいに草木染講座に入会したのが始まりでキャリア40年、先生になって15年になります。ヨモギやビワの葉、クリ



草木染の中の藍染を指導する西田照子さん(右端) 水島公民館

の皮などを材料にTシャツやスカーフ、のれんを作ります。年1回、秋の公民館文化祭に会員とともに作品を出すのを楽しみにしています。

在学中、調理師コースに進み調理師を目指す傍ら、美術系が好きで美術科目を選択しました。草木染をはじめ水墨画、拓本も同じような年季を積んでいます。趣味の広い多芸な人です。「病気をしとる暇がね〜んよ」と軽い冗談を言います。

拓本は青陵で書道を教えていた井上三男(雄風)先生の指導を受けたそうです。

草木染講座には坂根(旧姓塚本)晴美さん = 8期・家庭科、藤原(旧姓藤原)美佐子さん = 12期・家庭科、中原(旧姓高田)因(より)子さん = 13期・普通科 = の皆さんも頑張っています。

## 草木染40年、公民館講座の先生

ますます元気